



異動のごあいさつ

(2021年7月1日付)



●小児科 鈴木 雅大先生

こんにちは。小児科の鈴木雅大です。6月末をもって当院を退任することとなりました。6か月間という短い間でしたが皆さまには大変お世話になりました。ありがとうございました。アレルギーを中心とした、小児二次病院である当院での6か月間はとても学びになる日々でした。急性期疾患はもちろん、慢性期疾患の子供たちに対して熱心に働かれるスタッフの方々の姿が特に印象的で、子供たちと接した時間は私にとって当院でしか得られない、かけがえのない時間となりました。

当院での経験を活かし、さらに修練し小児科専門医となることが私の直近の使命となります。今後も子供たちのために微力ながら全力を尽くし、皆様にも何らかの形で恩返しできたらと思います。三重病院の皆様、患者の皆様、どうもありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。また、どこかでお会いしましょう。

やまばとギャラリー information

7月のやまばとギャラリーはランタンです。さまざまな色で作った染め紙と患者さんが一生懸命書いたイラストは、どれもカラフルで綺麗な作品に仕上がりました。ぜひ、やまばとギャラリーに足を運んでご覧ください！



(児童指導員 森 日奈子)

通所支援事業のひとコマ



梅雨どきのこの時期は体調管理が難しい時期でもあります。ご利用者さんは元気に通ってきてくれています。雨降りの日は送

り迎えも大変で憂鬱な気分になりがちですが、少しでも気分が晴れるようにと、指スタンプで模様をつけた傘を通所の玄関に飾ってみました。平たい紙にスタンプするときは「何ができるの?」と不思議顔の利用者さんも、保育士さんが傘の形に仕上げると、「おーっ」と目を見開いてみてくれていました。ずらっと並んだ傘はとってもカラフルで、とっても素敵ですよ。

また、もうじき「たなばた」ということで、七夕飾りを作ったり、短冊をお願いごとを書いたり、七夕にちなんだパネルシアターを鑑賞したりしました。パネルシアターはブラックライトをつけて、蛍光カラーが光って見えるようにしました。普段しっかり見ることが難しい利用者さんでも、暗がりのなかで光るパネルは目に入りやすいようで、いつもはうとうとしている方も最後までしっかり鑑賞することができました。

ちなみに七夕は7月7日ですが、旧暦の7月7日は現在の8月上旬から下旬ごろなので、今よりもっと晴れ間の多い時期だったのですね(今年は8月14日が伝統的七夕の日らしいです)。織女星(織姫)はこと座のベガ、牽牛星(彦星)はわし座のアルタイルです。はくちょう座のデネブをいれて「夏の大三角」を見つけに、夜空を見上げてみませんか。



(療育指導室長 村松 順子)

三重病院のウォーキングコース vol.4

4月



青い枇杷の実、6月の食べごろが楽しみです。

季節をたのしもう



三重県立こども心身発達医療センターで、こいのぼりが気持ち良さそうに泳いでいました。

5月



病棟窓際のきれいに刈り込んだ芝生に、ハナミズキの花が可憐です。

梅雨に入り、露草が咲いていました。

6月



たわわに実った枇杷がおいしそう、鳥に食べられないように誰か? 袋をかけましたね。

(管理課 藤山 多美子 / 内科医長 荒木 里香)